

# 受講生募集中！ グローバル時代のアートプロジェクトを担うマネジメント人材育成事業 「&Geidai」全体説明会および交流ラボ「アートプロジェクト・イントロダクション」

受講生募集にあたり、説明会を開催いたします。  
また説明会に引き続き、研修生のための交流ラボ（夏季）を同時開催いたします。  
ご関心のある方はお気軽にご参加ください。

## 開催概要

- 日時 2017年6月25日（日） 13:30 受付開始  
[第1部] 14:00-15:20 (全体説明会)  
[第2部] 15:30-17:00 (交流ラボ「アートプロジェクト・イントロダクション」)  
近年日本国内でも頻繁に取り上げられるようになった「アートプロジェクト」とは、一体何のことなのでしょうか？「アートプロジェクト——芸術と共創する社会」の監修者でもある熊倉純子によるレクチャーを通じて、「アートプロジェクト」、「グローバル化」、「アートと地域」について考えます。レクチャーを通じて、3つの実践現場と関わる本プログラムのミッションをより深く理解することを目指します。このレクチャーは、昨年から継続参加している研修生と、今年から新たに参加を検討している方の両方を対象として実施いたします。
- 会場 東京藝術大学 千住キャンパス 第1講義室（足立区千住1-25-1）
- 講師／コーディネーター 熊倉純子（東京藝術大学 教授）  
[千住コース] 音まち千住の縁：吉田武司、松岡真弥、長尾聡子、戸塚愛美、横原 彩  
[上野・谷中コース] 谷中のおかって：渡邊梨恵子、大西健太郎、富塚絵美  
[取手コース] 取手アートプロジェクト：羽原康恵、五十殿彩子、雨貝未来、高木諒一
- 定員 20名程度
- 費用 参加無料
- 主催 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科

## 予約方法

参加ご希望の方は、ウェブサイトの申し込みフォームからお申し込みください。  
<http://ga.geidai.ac.jp/2017/05/25/and-geidai/>

## お問い合わせ

- 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 120-0034 東京都足立区千住1-25-1  
050-5525-2732 (10:00-19:00・火曜・水曜・金曜のみ)  
ga-bunkacho@ml.geidai.ac.jp  
<http://ga.geidai.ac.jp>
- アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局 <http://aaa-senju.com/contact/>
- 一般社団法人 谷中のおかって <http://okatte.info>
- 取手アートプロジェクト 実施本部 <http://www.toride-ap.gr.jp/contact/>

※個人情報厳重に管理し、本事業の運営およびご案内にのみ使用します。  
※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



平成29年度 文化庁  
大学を活用した文化芸術推進事業

グローバル時代のアートプロジェクトを担う  
マネジメント人材育成事業



本プログラムは「国際編」「理論と実践編」の2つに分かれています。  
「国際編」では、国際シンポジウムや、海外からゲストを招いたレクチャーを通じて、諸外国の最新事情を学びます。「理論と実践編」では、千住コース、上野・谷中コース、取手コースの3つの実践現場を用意しました。夏季と冬季には交流ラボを開催し、各コースで実践を重ねた受講生が集まって、現場で体験したことを言語化し、理論へと結びつけていく機会をもちます。

本事業は、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科が主催し、アートアクセスあだち音まち千住の縁、一般社団法人谷中のおかって、取手アートプロジェクトが協賛しています。

「&Geidai」は「グローバル時代のアートプロジェクト」をテーマに、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科が開講するアートマネジメント人材育成講座です。千住、上野・谷中、取手、3つの地域で東京藝術大学および在校生・卒業生が行っているアートプロジェクトを実践フィールドとして、ローカルな活動手法に長けたアートナビゲーターが、グローバルな交流を求められる時代に向けて国際的な視座を持つことをめざしています。

## 国際編

グローバル時代を迎えて大きく変化しつつある芸術文化を、キュレーション、アートマネジメント、リサーチの3つの異なるアプローチから俯瞰し、世界の状況を捉える多角的な視座の獲得を目指します。受講生が国際的なレベルの基礎知識と理論に触れるため、国外のアートの場で活躍する人々を講師に、国際シンポジウムと3回にわたる連続講義を実施します。

### 国際編Ⅰ：国際シンポジウム

## “イミグレーション・ミュージアム”——日豪の対話 文化多様性に向けたコミュニティ・エンゲージメント

移民の国オーストラリアは、現在も国民の約半数が自身あるいは両親の世に海外から移住してきた人々です。メルボルンの「イミグレーション・ミュージアム」は歴史展示にとどまらないダイナミックな活動形態で、時にアートも取り入れ、教育普及やコミュニティ活動が盛んです。一方、岩井成昭が主宰するのは、反美術館的ともいえるアートプロジェクト。メルボルンの専門スタッフの方々に、館の理念や事業内容を伺いながら、文化多様性に向けた取り組みの日豪比較と対話を試みます。

日程 2017年10月15日(日)  
会場 東京藝術大学  
講師 イミグレーション・ミュージアム・メルボルン 専門スタッフの方、岩淵功一(モナシュ大学 教授、モナシュ・アジア研究所 所長)、岩井成昭(美術家、イミグレーション・ミュージアム・東京主宰)、熊倉純子(東京藝術大学 教授)  
助成 オーストラリア外務貿易省 豪日交流基金

## 理論と実践編

### 千住コース

東京藝術大学が足立区、東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、NPO法人 音まち計画と連携して、2011年より実施している市民参加型アートプロジェクト「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」(通称「音まち」)。千住を舞台とした3つのフィールド・プログラムです。コーディネーター:NPO法人音まち計画/プロデューサー:熊倉純子(東京藝術大学 教授)

#### 多文化共生に挑む

## 音まち千住の縁 フィールド・プログラム① 「イミグレーション・ミュージアム・東京」

「イミグレーション・ミュージアム・東京」は、美術家・岩井成昭監修のもと、日本で暮らす外国人の生活様式や文化背景を紹介し、それが日常の中で変容していく諸相を、アートの手法を用いて表現するプロジェクト。外国人居住者数が東京23区内で第3位(2017年現在)の足立区をフィールドとして、受講生は作品の展示や交流の場づくりなど、一連のプロジェクト運営に関する実践力を身につけます。

### カリキュラム.1 「フィリピンからの、ひとりひとり マキララ—知り、会い、踊る—」

交流企画「フィリハピボ!!!」+映像展示「Their history, to be our story」  
昨年度実施した「フィリピンからの、ひとりひとり マキララ」の反響をうけ、第2弾の開催および再展示に向けた運営方法を探っていきます。フィリピン・コミュニティとの協働から、さらに企画参加者ひとりひとりの、より主体的な参画へと深めていくことを目標としています。

日程 2017年5月-10月  
会場 東京藝術大学 千住キャンパス、足立区千住地域  
講師 佐藤慎也(日本大学理工学部建築学科 教授)

### カリキュラム.2 連続勉強会「多文化共生について考える」

本プロジェクトにおいて、新たな多文化共生プログラムを立ち上げるための基礎となる連続勉強会を専門家を招いて実施します。

日程 2017年11月-2018年2月  
会場 東京藝術大学 千住キャンパス、足立区千住地域  
講師 岩井成昭(美術家、イミグレーション・ミュージアム・東京主宰)

現場スタッフの声

下町文化の残る足立区千住エリア。北千住は「穴場だと思っ街ランキング」トップで注目を集めています。音まちでは、個性の異なる3つのコースから自分の興味に沿って、アートプロジェクトの現場に関わることができます。千住のアートプロジェクトで地域の「縁」をつなげる面白さ、難しさ、手応えと一緒に体験してみませんか？

## 上野・谷中コース

歴史的町並みや生活文化が残る台東区谷中を拠点に、各地でアートイベントの企画・運営・サポートを行う一般社団法人 谷中のおかって。東京藝術大学の卒業生や在学生も関わる本講座では、ワークショップやプログラムの企画運営・アーカイブ制作など、独特の活動を通じて得た若手アーティストの知見を活かす人材育成プログラムを展開。

#### ワークショップの実践研修

## ワークショップ・ファシリテーター講座(こども編・おとな編)

参加者に豊かな創造的体験を提供できる、ワークショップ・ファシリテーターとは？アーティストが考案したワークショップ・プログラムを実践研修の場として活用し、プログラムの特徴理解、環境設定や参加者との向き合い方などを多角的な視点で学びます。アーティストや地域の、ボランティアスタッフと対話を重ね、地域資源を活用したアートプロジェクトやワークショップの企画・運営について思考を深めます。

### カリキュラム.1 「こども編：ぐるぐるミックス」

幼児(4~5歳)を対象とする地域連携型創作アトリエ「こども創作教室ぐるぐるミックス」に携わりながら、地域資源やアートの特性を活かしたこども向けワークショップの企画・運営について学びます。さまざまな職業のまちの大人をゲストに迎え、アーティストが独自のプログラムを開発し、それを実施することで、暮らしの延長線上に、個性を引き出す「あそび」の習慣をつくります。

日程 2017年5月-2018年3月(月2回土曜開催・全17回)  
※中間検証会(全2回)  
会場 台東初音幼稚園(台東区谷中)、旧平柳田中部(台東区上野桜木)  
講師 大西健太郎(一般社団法人 谷中のおかって ディレクター)

### カリキュラム.2 「おとな編：風と遊びの研究所」

「風と遊びの研究所」はこどもから大人までさまざまな人がともに集い、風通しの良い関係性を育む「遊び」を考案する共同アトリエをめざしています。本講座では、受講生が各自の特技を活かしたワークショップ・プログラムの研究開発に取り組みます。創造的な体験を生み出す場づくりについて、プログラムづくり・実践・ふり返りを通じて段階的に学んでいきます。

日程 2017年5月-2018年3月(全10回)  
※最低3回講座を受講し、講師の指導を受ける。  
会場 旧平柳田中部(台東区上野桜木)  
講師 大西健太郎(一般社団法人 谷中のおかって ディレクター)

## 取手コース

1999年より茨城県取手市で続く取手アートプロジェクト(TAP)は、東京藝術大学が取手市および市民と取り組む三者共同の活動です。アートプロジェクトの現場を実践的なアートマネジメント人材育成の場として開くプログラム「TAP塾」では、2016年度にひきつづきこれからの社会に必要な「コミュニティ+アート・センター」を特別研究員(受講生)とともに構想していきます。

#### 取手アートプロジェクトTAP塾

## 「めざせ! コミュニティ+アート・センター」

### カリキュラム.1 「藝大食アート・センター化計画」

東京藝術大学取手キャンパス内にある福利厚生施設・学食を現場として、体を動かしながらアート・センターに必要なものを体得していくプログラムです。食を通じた交流・創造拠点の運営、地域とのつながり方、多様な人々が関わる場のコーディネーションを考え、実践します。

日程 2017年7月-2018年2月  
※月2回程度の活動から参加可能・登録制  
会場 東京藝術大学 取手キャンパス 福利厚生施設・学食  
講師 日比野克彦(現代美術家、東京藝術大学 美術学部長)、岩間賢(美術家、愛知県立芸術大学 講師)、羽原康恵(取手アートプロジェクト 事務局長)、平塚知仁(東京藝術大学国際芸術創造研究科 特任助手) 他

### カリキュラム.2 「アート・センターをつくるための取手アートプロジェクト・クロニクル」

18年の活動の中で多様な人々が関わり、変化してきたTAP。その人々に出会い直し、過去と現在を掘り下げるフィールド・リサーチを行います。活動をめぐる個人々の記憶をもとに年代記をまとめ、未来のアート・センターの背骨となるアートプロジェクトのクロニクルを編纂します。

日程 2017年7月-2018年2月  
※月2回程度の活動から参加可能・登録制  
会場 取手市内各所  
講師 羊屋白玉(指輪ホテル芸術監督・演出家・劇作家・俳優)、羽原康恵(取手アートプロジェクト 事務局長) 他

現場スタッフの声

アートプロジェクトが18年続く郊外のまち・取手を「コミュニティ」と「アート・センター」を考えるフィールドとして面白がる、熱意とひらめきある特別研究員を待っています! 地域と人の文脈を深く読み込み、体感する活動を通じて、多様な価値観の人々とゆるやかにでも社会を変えていく力を蓄えましょう。

### 国際編Ⅱ：3つのゲストセミナー

#### 第1回

音楽ワークショップをデザインする：コミュニティを「豊かな耳」で元気にする方法序説

日程 2017年10月8日(日)、10日(火)  
会場 東京藝術大学 千住キャンパス  
講師 マイケル・スペンサー(音楽家、ファシリテーター)、箕口一美(東京藝術大学 講師)

#### 第2回

新しい生態学にむけて：身体、自然、農業、アート

日程 2017年11月11日(土)  
会場 東京藝術大学 上野キャンパス5-109  
講師 フー・ファン(ビタミン・クリエイティブ・スペース代表、キュレーター/小説家)、住友文彦(東京藝術大学 准教授)

#### 第3回

アートプロジェクトの 日米比較と理論構築

日程 2017年12月9日(土)  
会場 東京藝術大学 上野キャンパス5-109  
講師 ジャスティン・ジュスティ(ワシントン大学 助教授)、熊倉純子(東京藝術大学 教授)、毛利嘉孝(東京藝術大学 教授)

### 千住のまちを「音」で捉える

## 音まち千住の縁 フィールド・プログラム② アサダワタル「千住タウンレーベル」

「千住タウンレーベル」は、千住地域を舞台に「まち」と「音」の視点から地域のローカルメディアを制作するプロジェクト。「音」をテーマにプロジェクトを展開している「音まち」ならではの講座です。受講生は、千住の多様な資源を取材したり、言葉と音を収録・編集したり。メディア制作や発信・アーカイブ・活用のプロセスを実践的に学ぶことができます。

### カリキュラム.1 ローカルサウンドメディアの制作・発信・活用

アサダワタルと、「音」と「編集」に関する専門家とともにまちに繰り出し、「日常」と「音楽」、「記憶」をテーマにした新しいメディア「音盤千住」のリリースにむけて活動。「音」をテーマとしたアートプロジェクトにおける「記録(ドキュメント)」の手法への理解と発見を深めていきます。

日程 2017年5月-2018年2月  
会場 足立区千住地域  
講師 アサダワタル(文化活動家・アーティスト) 他

#### アートを通じたコミュニティ醸成を体験

## 音まち千住の縁 フィールド・プログラム③ 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2017」

「Memorial Rebirth 千住」は、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品。無数のシャボン玉で見慣れた景色を変貌させ、記憶を呼び起こし、新たな記憶を創り上げます。千住では2011年度から商店街や小中学校、魚市場などを舞台に、まちからまちヘリレーのバトンのように受け渡しながら輪を広げ、縁をつなげています。7年目を迎えるこのプロジェクトを題材として、アートを通じたコミュニティ醸成の現場を体験します。

### カリキュラム.1 「Memorial Rebirth 千住 2017」の運営と理論化体験

アーティストや地域住民、学校や行政などさまざまなバックグラウンドを持った人と協働しながらプロジェクトを進めていきます。企画が終わったあとは、コミュニティ・ビルディングについて検証・評価を試みる、ふり返りレクチャーを行い、実践と理論の両面から学びます。

日程 2017年5月-2018年3月  
会場 足立区千住地域  
講師 大巻伸嗣(現代美術家、東京藝術大学 教授)、若林朋子(プロジェクト・コーディネーター、立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任准教授) 他

### アートプロジェクトをはじめよう!

## ゼロからのアートマネジメント実践講座「チョリ塾」

谷中を拠点に2009年よりアートプロジェクトを企画運営してきた「チョリ」(富塚絵美)が、アートプロジェクトに関心のある人々との対話を通じて、プロジェクトの始め方・企画運営・アーカイブ制作について議論し、アートプロジェクトの基盤となる考え方や運営の秘訣を伝授します。参加者一人ひとりの関心に合わせ、実践にむけたアドバイスをしていきます。

### カリキュラム.1 「秘伝! KISOKISO——アートプロジェクトの種の観察」

前期は、アーティストやプロデューサーなどさまざまな専門家を対象に、それぞれが取り組むプロジェクトのヒアリングを通じて、アートプロジェクトのきっかけとなる「種」に着目し、プロジェクトの始め方について思考を深めます。さらに、10月に山谷エリアで開催予定のきむらとしろうじんじんの「野点」を題材とし、プロジェクトを立体的に構築していく知識や技術について学びます。後期は、昨年度本プロジェクトが発行した「KISOKISONOTEBOOK—アートプロジェクトを始める前に—」を使って、受講生それぞれの中にあるアートプロジェクトの「種」をプロジェクトへと育てていきます。前期・後期の終わりにアドバイザーを交えて、アートの理論や歴史的な見解をふまえた思考を深めます。

日程 [前期]2017年5月-7月(全10回)  
[後期]2017年9月-2018年2月(全10回)  
※アドバイザーによる集中講義(全2回)  
会場 旧平柳田中部(台東区上野桜木) 他  
講師 富塚絵美(一般社団法人 谷中のおかって ディレクター)

現場スタッフの声

歴史的町並みや生活文化が残る台東区谷中を拠点に、世代を超え、異なる習慣や価値観を持つ人々が行き交うような文化を共創する場づくりをめざし、アートプロジェクトを展開しています。自身の興味や関心に合わせて等身大でプロジェクトに向き合い、それぞれのペースで基礎からじっくりと思考や経験を深めていくことができます。個性あふれる才能をお待ちしています!

## 交流ラボ

3つの実践現場の受講生全員が集まり、講師陣やコーディネーター、東京藝術大学でアートマネジメントを専門に学ぶ学生たちとともに、実践現場で感じた課題やもやもや感を言語化し、芸術理論や政策論へと結びつけてゆく理論化体験ゼミです。交流ラボのみの参加も可能です。

日程 [夏季ゼミ]2017年6月25日(日) [冬季ゼミ]2018年2月中旬予定  
会場 東京藝術大学 千住キャンパス  
講師 熊倉純子(東京藝術大学 教授)  
[千住コース] 音まち千住の縁:吉田武司、松岡真弥、長尾聡子、戸塚愛美、横原 彩  
[上野・谷中コース] 谷中のおかって:渡邊梨恵子、大西健太郎、富塚絵美  
[取手コース] 取手アートプロジェクト:羽原康恵、五十殿彩子、雨貝未来、高木謙一

